

### ③-3 佐賀県の徐福伝説



諸富町サイクルロード出発点にある徐福像



有明海（佐賀県）： 中国から船で渡来した徐福が着いたのは九州西部の有明海でした。



海童神社（佐賀県佐賀市白石町）

（園内は入り口にある石碑）

徐福一行が最初にたどり着いたのは杵島の竜王崎（佐賀県佐賀市白石町）でしたが、ここに上陸するには困難な場所と判断されました。有明町の海童神社にある石碑にはこの地に徐福が来たことなどが書かれているそうです。海童神社を訪問した時（2003.8.19）は神社入口の改修工事中で、石碑（円内）も空き地に倒されて置いてあったため、碑文は確認できませんでした。

徐福一行は上陸地点を決めるために大きな盃を海に浮かべて占いました。そして、盃が流れ着いたのが佐賀県の諸富町大字寺井津字搦（からみ）とされています。筑後川河口にあるこの町に「浮盃（ぶばい）」という地名が残っています。



佐賀県佐賀市諸富町寺井津